

福島県会津若松市における観光地型MaaS実証実験 (国土交通省 新モビリティサービス推進事業選定(観光地型))

<実証実験概要>

「地方都市」と「観光地」二面性を有する会津若松市をフィールドに、グローバルなサービスへのAPI接続を前提に、地域で持続的に運営可能な「ローカルなモビリティサービス」を、生活・観光両面での実証実験を通じ構築する。

○実験期間:2019年10月～2020年3月

①教育旅行実証:10～11月(クローズド)

②大内宿実証:12～3月(12月プレ実証)

③バス+タクシー実証:12～3月(12～1月プレ実証)

○参画する事業者等

会津乗合自動車(株)、会津鉄道(株)、東日本旅客鉄道(株)、
(株)デザインウム、アルパイン(株)、福島大学経済経営学類
吉田研究室、NEC会津イノベーションセンター、(株)KCS、
ITS Japan、会津若松市 等

○MaaSアプリの構築・提供

<対象交通手段> 鉄道、バス、タクシー

①教育旅行実証:周遊バス

②大内宿実証:鉄道、バス

③バス+タクシー実証:周遊バス、路線バス、タクシー

<提供するサービス> 経路検索、予約、決済

○特記事項

・デジタルフリーパスの販売

※まちなか周遊用の一日乗車券、大内宿共通割引きっぷ、
月及び一日単位の中心市街地のバス定期券(乗車券の
所持者はエリア内の乗用タクシーを定額利用可)

・観光情報、飲食店情報の提供(市観光情報等との連携)

・GPS位置情報(アプリの決済済み画面表示時)により、
周遊経路及び降車バス停の把握を検討

・会津若松駅「手ぶら観光カウンター」との将来的な連携

<展開エリアのイメージ>

③バス+タクシーによる会津まちなか生活MaaS実証



■バスのエリア27定期券・1日券の利用範囲
(路線・バス停)と定額タクシーのエリア(案)

